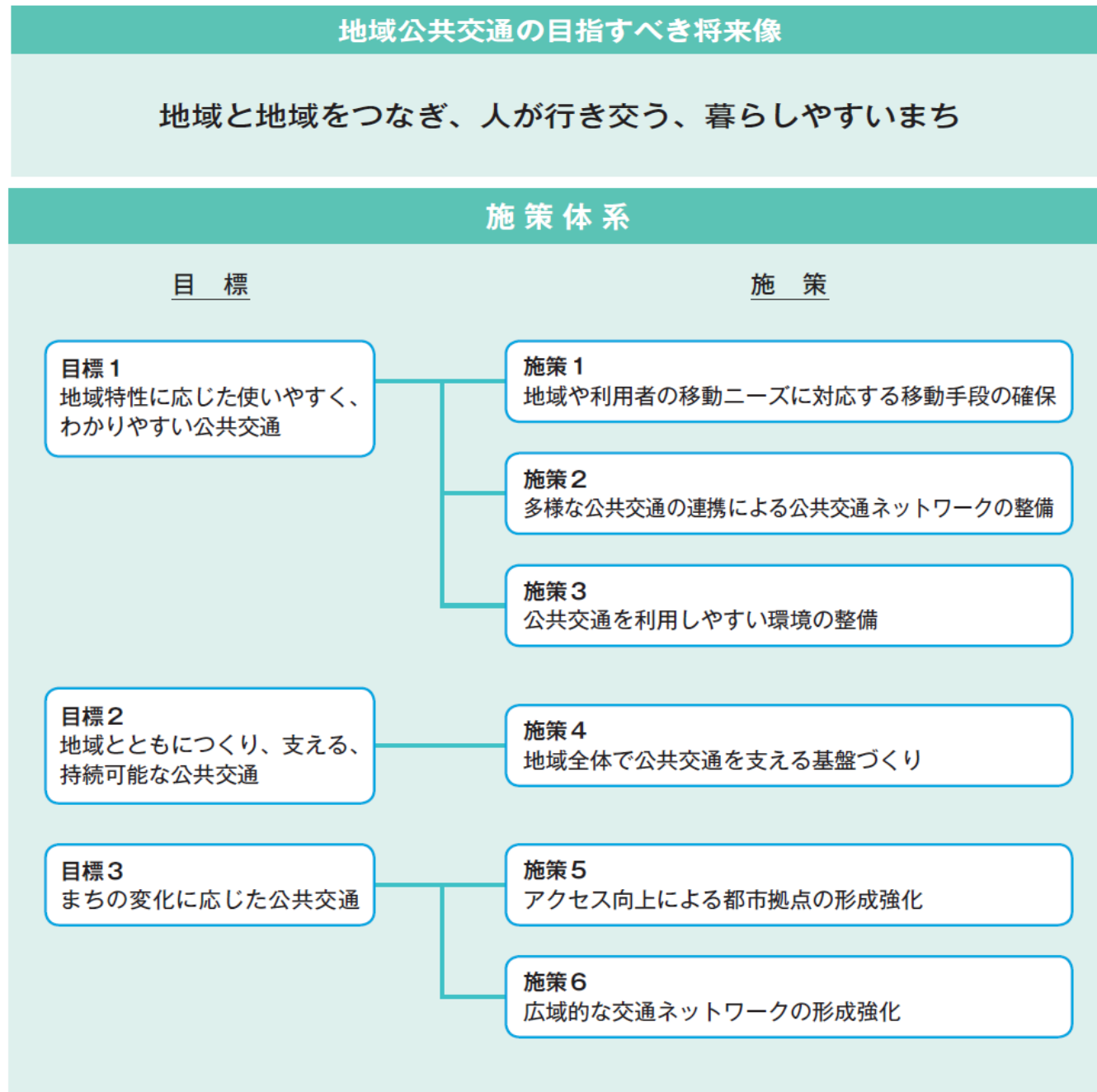


【第3号議案】

資料 1

■新発田市地域公共交通網形成計画 体系図



■評価指標の年度別達成状況

【目標 1】 地域特性に応じた使いやすく、わかりやすい公共交通								
評価指標	現状値	H 2 9 目標値/実績値	H 3 0 目標値/実績値	H 3 1 目標値/実績値	H 3 2 目標値/実績値	H 3 3 目標値/実績値	H 3 4 目標値/実績値	H 3 5 目標値/実績値
① 路線バスの年間※利用者数 ※バス事業年度（10月から翌9月まで）	120,371人 (H28年度)	121,175人 109,657人	121,979人	122,783人	123,588人	124,392人	125,196人	126,000人
	達成状況	× 運行維持のため、市が補助金を交付している11路線を対象としているが、H28とH29を比較すると11路線中8路線で利用者数が減少している。H29年10月には7路線の見直しをしており、今後も利用者数の推移をみながら、改善を図る必要がある。						
② コミュニティバスの年間利用者数	108,401人 (H27年度)	111,487人 121,060人	114,572人	117,658人	120,743人	123,829人	126,914人	130,000人
	達成状況	○ H29実績値の内訳は、新発田市コミュニティバス（菅谷・加治）64,947人（前年度比94%）、川東コミュニティバス56,113人（前年度比115%）で、川東コミュニティバスで利用者数が増加した。川東コミュニティバスの主な増加要因としては、商業高校生と竹俣特別支援学校生の利用が伸びていることがあげられる。なお、新発田市コミュニティバスは、地域の高校生の人数が減少したことによって利用者数が減少しているものと考えられる。今後も高校生の人数は減少していくと考えられることから、運転に不安を感じる高齢者等の利用促進を図っていく必要がある。						
③ 路線バスの見直し地区数	4地区 (H28年度)	6地区 4地区	7地区	8地区	8地区	8地区	8地区	8地区
	達成状況	× 学校統合等により路線バスの見直しを行った地区は、菅谷・加治、川東、五十公野・米倉・赤谷、松浦の4地区となっている。豊浦地区、紫雲寺地区の見直しをH29から進める予定としていたが、学校統合に係る地域説明、意向確認等に時間を要したことから、H30から本格的に見直しに着手する予定としている。						
④ 「バスどこ？」HPへの年間アクセス件数	14,162件 (H27年度)	15,710件 32,098件	17,259件	18,807件	20,355件	21,903件	23,452件	25,000件
	達成状況	○ スマートフォンの普及により、PC/スマホのアクセス率がH27の76.4%からH29には90.2%に伸びている。今後も、「バスどこ？」の周知や機能拡充などにより、バス利用に係る不安の解消を図り、バスを利用しやすい環境の整備を進めていく。						

【第3号議案】

資料 1

【目標 2】 地域とともに作り、支える、持続可能な公共交通								
評価指標	現状値	H 2 9 目標値/実績値	H 3 0 目標値/実績値	H 3 1 目標値/実績値	H 3 2 目標値/実績値	H 3 3 目標値/実績値	H 3 4 目標値/実績値	H 3 5 目標値/実績値
① 地域における検討支援体制の構築数	4団体 (H28年度)	6団体	7団体	8団体	8団体	8団体	8団体	8団体
	達成状況	4団体						
		×						
		学校統合の検討を進める地区を最優先に公共交通の見直しを進めているが、豊浦地区、紫雲寺地区の見直しをH30から本格着手することから、検討体制の数も現状維持となっている。						
② 路線バス利用者 1 人当たり運行経費	1,077円/人 (H28年度)	1,070円/人	1,063円/人	1,056円/人	1,049円/人	1,042円/人	1,035円/人	1,028円/人
	達成状況	1,205円/人						
		×						
		H28とH29を比較すると、運行維持のため、市が補助金を交付している11路線のうち8路線で運行経費が増加している一方で、利用者数も減少していることから、一人当たり運行経費が伸びている。運行の効率化、利用促進を図り、改善していく必要がある。						
③ コミュニティバス利用者 1 人当たり運行経費	747円/人 (H27年度)	729円/人	712円/人	694円/人	676円/人	658円/人	641円/人	623円/人
	達成状況	683円/人						
		○						
		新発田市コミュニティバス（菅谷・加治）、川東コミュニティバスともに運行経費が増加しているものの、利用者数が増加していることから、一人当たり運行経費が減少した。今後は、高校生の減少に伴い、利用者数が減少していく恐れがあることから、運行経費の削減と、地域との協働による利用促進を図っていく。						
④ 公共交通の利活用を推進する年間取組数	4件 (H28年度)	10件	11件	12件	12件	12件	12件	12件
	達成状況	6件						
		×						
		乗り方教室の実施を予定していたが、参加希望がなく実施できなかった。乗り方教室の実施方法について見直しを図るとともに、将来にわたって地域の公共交通を維持していくため、今後も地域との連携による利用促進の取組を積極的に進めていく。						

【目標 3】 まちの変化に応じた公共交通								
評価指標	現状値	H 2 9 目標値/実績値	H 3 0 目標値/実績値	H 3 1 目標値/実績値	H 3 2 目標値/実績値	H 3 3 目標値/実績値	H 3 4 目標値/実績値	H 3 5 目標値/実績値
① あやめバス（市街地循環）の年間利用者数	80,582人 (H27年度)	80,956人	81,330人	81,704人	82,078人	82,452人	82,826人	83,200人
	達成状況	81,661人						
		○						
		あやめバスの利用者数は、H26から減少傾向にあったが、H29はH26と同程度まで回復した。中心市街地における重要な移動手段として、利用者ニーズを把握し、電車や他の路線バス等との乗継ぎに考慮したダイヤ設定や商業施設等の立地に応じた運行の見直しを図ることで、利用者数を維持していく。						
② 通学における高校生の公共交通利用率	51.0% (H28年度)	52.4%	53.9%	55.3%	56.7%	58.1%	59.6%	61.0%
	達成状況	—	—					
		—	—					
		※H31年度（計画の中間評価）、H35年度（計画の最終評価）にアンケート調査を実施して把握する。						

【第3号議案】

資料2

■新発田市地域公共交通網形成計画／事業進捗状況

施策	内容	実施中	一部実施	未実施	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
施策1	地域や利用者の移動ニーズに対応する移動手段の確保										
	事業1-1 市内高校へ通学しやすい運行時間や運行ルートの設定		●		随時実施						
	事業1-2 通院や買い物物の往復など利用状況に対応した適切な運行		●		随時実施						
	事業1-3 新発田市コミュニティバス（菅谷・加治地区）の継続運行		●		随時見直し実施						
	事業1-4 川東コミュニティバスの継続運行		●		毎年度検証・見直しを行う			継続又は見直し			
	事業1-5 東中学校区の公共交通の見直し	●			優先的に検討・実施						
	事業1-6 各地区の公共交通の見直し	●			随時実施						
	事業1-7 コミュニティバス運賃の見直し		●		コミュニティバスの検証・見直しに応じて検討						
	事業1-8 高校生や高齢者への運賃割引制度の検討と障がい者割引運賃の実施		●		随時実施						
	事業1-9 高齢者運転免許返納支援事業の継続実施	●			随時実施						
	事業1-10 スクールバスの運行と定期券の購入補助	●			随時実施						
事業1-11 廃止代替路線の検討、見直し	●			各地区の公共交通の見直しに併せて検討・見直しを行う							
施策2	多様な公共交通の連携による公共交通ネットワークの整備	実施中	一部実施	未実施	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
	事業2-1 鉄道との接続を考慮したあやめバス、コミュニティバス、路線バスのダイヤ改正		●		鉄道のダイヤ改正に応じて実施						
	事業2-2 あやめバスとの接続を考慮したコミュニティバス、路線バスのダイヤ設定	●			バス路線の見直しに応じて実施						
	事業2-3 地域をつなぐコミュニティバスや路線バス同士のダイヤ設定		●		バス路線の見直しに応じて実施						
事業2-4 利便性向上に向けた鉄道事業者への改善要望活動の実施	●			随時実施							
施策3	公共交通を利用しやすい環境整備	実施中	一部実施	未実施	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
	事業3-1 バス待合所の設置推進とバス待合所設置事業補助金制度の見直しの検討		●		随時実施						
	事業3-2 バリアフリー車両の導入促進と導入車両の検討	●			随時実施						
	事業3-3 市内公共施設と連携したデジタルサイネージを活用した情報発信	●			随時実施						
	事業3-4 「バスどこ？」の対象路線拡大とシステムの再構築		●		バス路線の見直しに併せて対象地域の拡大を検討						
	事業3-5 バス停案内表示の充実と公共交通ガイドマップの作成		●		バス路線の見直しに併せて実施						
	事業3-6 地域主催の乗り方教室の開催	●			随時実施						
事業3-7 ICカード導入の検討			●	各地区の公共交通の見直し状況に応じて検討							
施策4	地域全体で公共交通を支える意識づくり	実施中	一部実施	未実施	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
	事業4-1 ノーマーカーの周知・啓発	●			随時実施						
	事業4-2 商店街等と連携した取組の検討			●	あやめバスの検証・見直しに応じて検討						
	事業4-3 車内・車外広告の募集やバス停のネーミングライツの検討		●		随時実施（ネーミングライツは車内・車外広告の募集状況に応じて検討）						
	事業4-4 地域住民の主体的な組織づくりや活動の支援	●			地域住民の意向に応じて実施						
	事業4-5 公共交通の手引きの発行			●	優先的に検討						
	事業4-6 各種イベントやホームページ等の活用による利用促進・意識啓発	●			随時実施						
	事業4-7 サポーター制度の構築			●	地域住民の組織づくりや活動に応じて検討						
事業4-8 高校・大学と連携した利用促進活動			●	随時実施							
施策5	アクセス向上による都市拠点の形成強化	実施中	一部実施	未実施	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
	事業5-1 あやめバスの運行とダイヤ改正やルート変更等による利便性の向上		●		随時実施（ダイヤ改正やルート変更は運行内容の検証に応じて検討）						
	事業5-2 あやめバス利用者に対する移動ニーズ調査		●		優先的に検討						
	事業5-3 あやめバスの新たなネットワークの検討			●	移動ニーズ調査の結果を踏まえて検討						
	事業5-4 パークアンドライドのあり方の検討	●			利用ニーズの状況等に応じて検討						
	事業5-5 駐輪場の維持	●			随時実施						
	事業5-6 公共交通システムとの連携などの検討		●		駅の利用状況等に応じて検討						
	事業5-7 移動ニーズ調査の実施や市内観光施設を結ぶ周遊ルートの策定		●		随時実施						
事業5-8 広域観光周遊ルートの策定	●			随時実施							
施策6	広域的な交通ネットワークの形成強化	実施中	一部実施	未実施	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
	事業6-1 近隣市町をつなぐ公共交通の見直し	●			優先的に実施						
	事業6-2 交通結節点の待合環境の整備と乗継ぎダイヤの見直し 〔定住自立圏連携事業〕			●	随時実施				見直し実施		
	事業6-3 広域的な公共交通ガイドや位置情報システムの検討			●	広域的な公共交通の見直しに応じて検討						
	事業6-4 羽越本線の高速化に向けた要望活動の実施やシンポジウムの開催支援	●			随時実施						
	事業6-5 広域交通維持事業（県内都市間高速バス） 〔連携中枢都市圏連携事業〕	●			随時実施						
事業6-6 生活交通維持事業（地域間幹線系統バス路線） 〔連携中枢都市圏連携事業〕	●			随時実施							
進捗状況別事業数		20	16	8							
全事業数		44									